

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	133	国際性に富む人材育成留学事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (4) - 7		
担当部課名	教育庁 県立学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成24年度～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	国際社会、情報社会に対応した 教育の推進		
事業内容	国際性と個性を涵養し、グローバルに活躍できる人材の育成を図るため、高校生をアメリカ、欧州、アジア諸国へ1年間、大学生等を海外諸国へ6ヶ月～2年間派遣する。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()		
予算額・ 執行額 (単位:千円)			24年度	25年度	26年度	27年度	
			うち交付金充当額				
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	126,436	101,148			
		(b)予算現額	126,436	101,148			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)前年度繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		126,436	101,148			
	B.執行済額		102,026	81,621			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		80.7%	80.7%			
予算の状況の説明		交付申請時には留学者数80人(高校生65人、社会人15人)を予定していたが、そのうち社会人1名が辞退、社会人5名(平成23年度派遣生)が交付金対象外となったことにより執行残が生じた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	高校生及び大学生等の留学者数	目標	80人				
		実績	79人				
		目標					
		実績					
達成状況説明	上記の活動目標及び実績については、交付金対象外となった社会人5名(平成23年度派遣生)を含めた数値である。社会人1名が個人的な理由により辞退したため、実績が1人減となったが、79名を下記のとおり派遣した。 ・社会人14名 期 間:6ヶ月課程、1年課程、修士課程(2年間) 派遣先:アメリカ、韓国、イギリス、カナダ、スイス、オーストラリア ・高校生65名 期 間:1年間 派遣先:アメリカ、欧州、アジア諸国						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (28年度)
	高校生及び大学生等の留学者数	目標	80人	80人 (80人)			100人 (480人)
		実績	80人	79人 (79人)			
	()は累計						
	[参考指標]	目標					
実績							
進捗状況説明	本交付金活用により、平成23年度まで半額助成で実施していた高校生の留学事業を全額助成にすることで、経済的事由に関わらず、より多くの高校生に派遣の機会を与えることが出来た。そのため、当事業が目指す、IT・観光分野、医療分野、学術・教育分野、国際交流分野(NPOやNGO等)等において、中核的な人材育成の基礎作りを図っている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	1.平成24年度での交付決定が第3次になってしまったために、委託先の決定や募集・選考業務が3ヶ月程遅れての実施となった。 2.高校生の留学についてはアジア枠が中国の1名だけであった。	事業効果については、高校生を含め学生が就職するまで一定の期間を要するため、動向調査の徹底が必要となる。

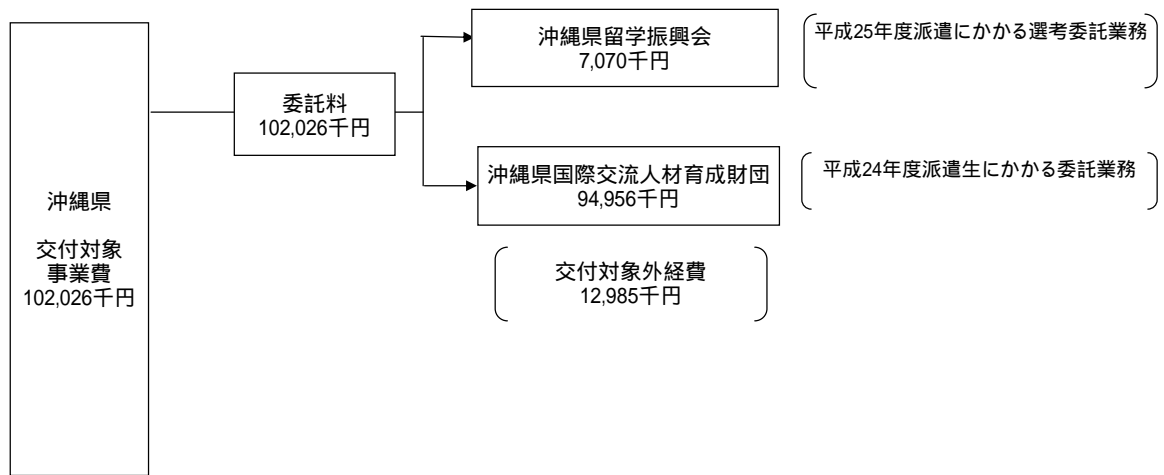
今後の取り組み方針

資源が少ない島嶼県沖縄が発展する最大の拠り所は人材であり、海外留学を通してグローバルスタンダードの知的水準を具備した人材の育成を図ることはきわめて重要と考えられることから、沖縄振興特別推進交付金を活用し事業を実施したい。併せて、事業効果を高めるため、今後引き続き以下の取り組みを実施する。

- 高校生、大学生等に共通する事項: 研修報告書の作成(全県立高等学校及び全市町村の図書館へ送付)
- 高校生について
 - 研修報告会の開催
 - 進路先調査等の実施
 大学進学先(大学や学部、県内外、国内外等)や就職先の調査を行う。
 個人個人で進学就職時期が異なることから、年1回程度アンケートと共に動向調査を実施する。
- 大学生等について
 - 動向調査
 大学生や専門学校生の就職先(県内外、国内外等)調査の実施 社会人の現状報告
 - アンケートの実施(年1回)
 今後、プログラムに参加する派遣生へのアドバイス等 本プログラムの内容等について(改善点等)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付対象事業費の内訳				交付対象外経費
		うち交付金充当額(%)	うち県負担金(%)	うち市町村負担金(%)	その他(%)	
115,011	102,026	81,621	20,405	0	0	12,985



資金の 使途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託先については、公募によるプロポーザル形式で決定した。平成24年度の派遣と平成25年度派遣に向けての選考業務を行ったが、委託先がそれぞれの業務を円滑かつ確実に遂行した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	190	グローバル・リーダー育成海外短期研修事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-7		
担当部課名	教育庁 県立学校教育課・文化財課	事業実施(予定)年度	平成24年度～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	グローバルな視点を持ったリーダーを育成する基礎作りを図るために、高校生を対象にアメリカ高等教育体験研修、海外サイエンス体験短期研修、中国教育交流研修、沖縄県高校生芸術文化国際交流プログラムの4つの研修を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 (単位:千円)			24年度		25年度	26年度	27年度
			うち交付金充当額				
	予算の状況	(a) 当初予算額	67,489	53,991			
		(b) 予算現額	67,489	53,991			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 前年度繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	67,489	53,991			
	B. 執行済額		64,510	51,608			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		95.6%	95.6%			
予算の状況の説明		委託料について、受託者が提示した額が予算を下回ったため、不用額が発生したが、当初計画をしていた事業内容はすべて実施したほか、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	高校生の短期研修派遣者数	目標	155人				
		実績	155人				
達成状況説明		①アメリカ高等教育体験研修(50名) ②海外サイエンス体験短期研修(25名) ③中国教育交流研修(20名) ④沖縄県高校生芸術文化国際交流プログラム(60名) それぞれの研修において目標の人数の派遣を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
	事業実施後の参加者のアンケートにおいて、海外の大学への進学希望等留学に係る意識の向上が見られる生徒の割合	目標		70%			
		実績		100%			
	【参考指標】	目標					
		実績					
進捗状況説明		プログラム参加者に対し、海外大学等への進学・留学に係る意識に関する調査を行ったところ、全参加者が、研修へ参加したことにより将来外国の大学や大学院等へ進学・留学したいという意識が芽生えた旨回答した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○派遣時期が2～3月に集中し、他の研修事業とあわせて多くの生徒が同時期に学校をあげることとなったので、研修時期を再考する必要がある。</p> <p>○研修の意図するところを十分に実施できなかったため、改善を図る必要がある。</p> <p>①アメリカ高等教育短期研修⇒大学生活を体験させること ②海外サイエンス体験短期研修⇒現地高校等での理数系の科目を中心に学習 ③中国教育交流研修⇒現地高校生との交流</p> <p>○参加者からのアンケート結果を踏まえ、要望事項について改善していく必要がある。課題は、プログラム参加者の英語力の向上と、業務委託仕様書の表記内容の改善である。</p> <p>(アンケート結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の講義を受けたり、学生と交流する機会が多ほしい。 ・派遣先の伝統や文化などを学ぶ研修を希望 ・実践的な内容(実験・フィールドワーク等)も含めてほしい ・現地の高校生と授業を一緒に受けたかった 等 	<p>○派遣時期を検討する必要がある。 (アメリカ高等教育体験研修を7月下旬～8月中旬にかけて行う)</p> <p>○企画提案書及び業務委託仕様書を改善する必要がある。 (企画提案書)以下の事項について明記する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学での授業体験、施設見学、現地学生との交流等について ・宿泊の形態(寮・ホームステイ等)について ・選考試験実施方法(1次・2次試験の内容等)について <p>海外サイエンス体験研修では、現地高等学校で理数系の授業を受講する 等 (業務仕様書)以下の事項について明記する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学本科の授業への参加や学生寮での滞在について ・事前・事後研修の内容及び回数等について ・プログラム内容に係る、沖縄県教育委員会との協議について 等 <p>○研修プログラムの充実を図る必要がある。</p> <p>①アメリカ高等教育短期研修⇒大学生活を体験させること ②海外サイエンス体験短期研修⇒現地高校等での理数系の科目を中心に学習 ③中国教育交流研修⇒現地高校生との交流</p>

今後の取り組み方針

資源の少ない島嶼県沖縄が発展する最大の拠り所は人材であり、21世紀の沖縄の発展を担う国際性豊かな人材育成が不可欠であるところ、その実現のために高校生が異文化体験を通して視野を広めることは非常に有益であり、引き続き沖縄振興特別推進交付金を活用し事業を実施する必要がある。具体的には、以下の取り組みを進めたい。

- 研修の意図するものを明確にするため、改善の余地の検証(効率の更なる検証)結果を取り入れた業務委託仕様書の見直し。
- プログラム参加者のアンケート結果を取り入れた研修プログラムの実施。
- 4事業のうち、アメリカ高等教育体験研修については夏期に実施。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額(80%)	うち県負担金(20%)	うち市町村負担金(%)	その他(%)	交付対象外経費
		51,608	12,902	0	0	
64,510	64,510	51,608	12,902	0	0	0

沖縄県 交付対象事業費 64,510千円	役務費 31千円	(アメリカ高等教育体験研修に係る通信費)
	委託料 57,152千円	沖縄県留学振興会 32,327千円 (アメリカ高等教育体験研修に係る委託業務)
		JTB沖縄 11,908千円 (海外サイエンス体験短期研修に係る委託業務)
		沖縄県高等学校文化連盟 12,917千円 (沖縄県高校生芸術文化国際交流プログラムに係る委託業務)
	旅費 6,927千円	(アメリカ高等教育体験研修、海外サイエンス、中国教育交流研修に係る旅費 沖縄県高校生芸術文化国際交流プログラムに係る旅費)
	負担金 400千円	(中国教育交流研修に係る負担金(授業料))

資金の流れの点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 予算の規模、用途については適正であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	